


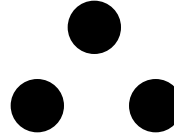

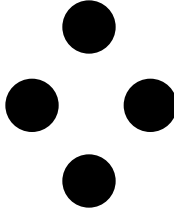



# 国際式天気記号

					
弱い雨。 前1時間内に 止み間が あった。	弱い雨。 前1時間内に 止み間がな かった。	並の雨。 前1時間内に 止み間が あった。	並の雨。 前1時間内に 止み間がな かった。	強い雨。 前1時間内に 止み間が あった。	強い雨。 前1時間内に 止み間がな かった。

		
霧雨	雨	雪

# 雲画像の種類

雲画像の種類	特徴
赤外画像	雲頂高度が高い雲⇒白
可視画像	厚い(=雲水量が多い)雲⇒白
水蒸気画像	対流圏中上層の水蒸気が多い領域⇒白

# 前線の位置の決め方

- 850hPa気温または相当温位。
- 等温線または等相当温位線の集中帯の暖気側。
- 風向も参考にする。

# 閉塞期の相当温位場

- 前線:
  - 寒冷前線と温暖前線がぶつかった場所→閉塞点
  - ⇔低気圧の中心と一致しない。
- 低気圧の中心付近:
  - 周囲から切り離された高相当温位域。
  - 低相当温位の空気が南から東に回り込む。

# 風の鉛直シアと温度移流

- 温度風＝地衡風の鉛直シア
  - ⇔ 温度の水平勾配
  - 風速が時計回りに変化：暖気移流。
  - 風速が反時計回りに変化：寒気移流。

# 梅雨前線の特徴

- 比湿の勾配が大きい。
  - 相当温位の勾配が大きい。
    - 850hPa、500hPa天気図で判断。
- 湿舌: 高相当温位域が南西から伸びる。
- 下層ジェット: 前線の南側で南西風。
  - 850hPa風・相当温位解析図で判断。
- 湿潤中立成層。
  - 相当温位が鉛直方向にほぼ一定。

# 大気の鉛直安定度

- ショワルター安定指数 (SSI): 500hPaにおける実際の気温と、850hPa面にある空気を断熱的に500hPa面まで持ち上げたときの温度との差。
- 持ち上げ凝結高度 (LCL): 空気を断熱的に持ち上げて凝結が始まる高度。
- 自由対流高度 (LFC): 空気を断熱的に持ち上げて凝結が始まり、凝結熱による浮力を得られる高度。
- 対流有効位置エネルギー (CAPE): 空気を断熱的に持ち上げると、その温度がまわりの大気の気温より高い層では浮力により運動エネルギーを得る。これをすべて積算したもの。

# 府県気象情報

- 持続的な大雨(温暖前線、停滞前線):
  - 土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫。
  - 対応する注意報: 大雨、洪水。
- 一時的な大雨(寒冷前線):
  - 短時間強雨、落雷、ひょう、突風。
  - 対応する注意報: 大雨、洪水、雷、強風、波浪。